

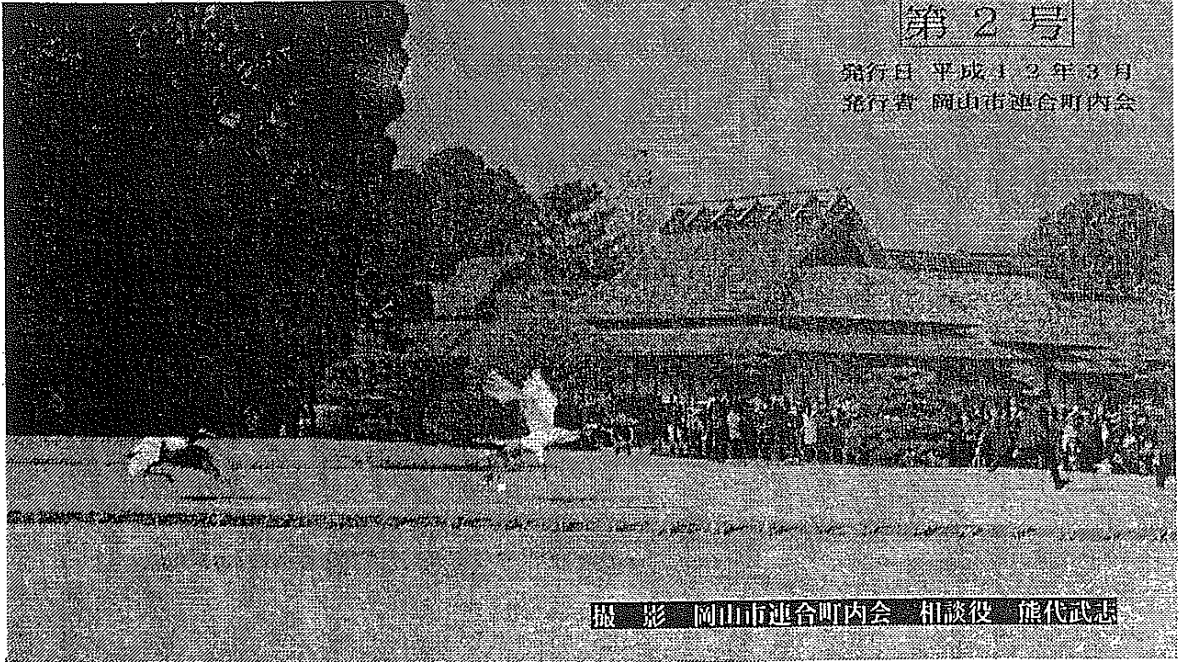


おかやま連町だより

和久松兼字題

第2号

発行日 平成12年3月
発行所 岡山市連合町内会



撮影 岡山市連合町内会 相談役 能代武志

たかが町内会 されど町内会

岡山市連合町内会

会長 兼松久和

春寒のみぎり、町内会長各位におかれましては住民自治組織の長として地域活動の推進と住民自治の発展に格段のご尽力をいただき厚くお礼申し上げます。

「おかやま連町だより」も広報活動のより一層の充実という観点から昨年三月創刊号を発行し学区（地区）連合町内会長へ配布いたしました。今年度は岡山市内の総ての町内会長へ配布することとなりました。

さて、町内会・自治会・区長会等（以下、町内会という）の役割について考察し諸兄の御批判を仰ぎたいと思います。

一、住民自治活動

祭、盆踊り、共同体の冠婚葬祭、運動会等の親睦行事、子供会、婦人会、老人会等相互扶助に関わるもの、住民生活についての陳情、要望、道路、用水等の清掃、自衛のための

防災、防犯、防火活動、交通安全対策等複雑多岐にわたっている。

二、行政への協力事業

行政連絡の周知徹底（広報紙等の配布及び回覧）公益事業（共同募金等）防犯灯の設置管理等行政補完事業

三、行政への市民参加

市長の付属機関である各種審議会・協議会等においての意見の開陳及び行政の関わる事業活動への参加

（市民参加が盛んになってきた直接の原因は、市民の自治意識が向上したためばかりではない。議会の代表性が機能を阻害されているからである。議会が理想的に運用されていれば、その上に、市民参加は必要ではない。市民の生活要求が多岐にわたって議会では対応しきれなくなったために市民は直接行政上の意志決定に参加しようとするのである。）

四、公職者等の推薦母体

民生児童委員、人権擁護委員、行政相談員、保護司、国勢調査員、地域安全推進員、土木水利員、愛育委員等の推薦（地域により異なる）

五、地方自治法第二六〇条の二に

基づく地縁法人としての認可をうけ不動産等の所有権保存（移転）登記をなし将来に備える。

六、その他

「村おさ」としての町内会長は会員からの「よるす相談」をうける。

これら市民生活の根幹に係

わる役割を担っている町内会、町内会・自主性をもって行動す

いといつても過言ではない。また、町内会の重要な機能の一つは市民的連帯意識の基盤を提供するところにある。

我が国では、町内会が他のいかなる住民団体よりも全国津々浦々迄ゆきわたっているという事実是否定できない。

多少の異論はあつても現在のところ地縁団体である町内会に代表される包括的住民集団の他に、日本の住民自治の究極の拠点は考えられない。

「たかが町内会、されど町内会」といわれる所以はここにある。

① 現行の学区（地区）連合町内

会組織の基盤を明確にするため一小学校区一連合町内会への問題提起（継続審議中）

② 副会長・常任理事の増員に伴う規約改正案の作成

③ 平成十四年開催予定の岡山市連合町内会四〇周年記念大会への向けての検討

二、岡山県自治会連合会関係

平成十一年四月十九日、岡山市連合町内会・御津郡建部町区長協議会・苫田郡富村地区区長会

（二市、一町、一村）により、

待望の岡山県自治会連合会設立総会が開催され現在に至っている。和氣郡和氣町区長協議会、

同吉永町地区区長会、赤磐郡赤坂町区長会、倉敷市児島自治会連

合会、勝田郡勝北町区長会を訪問し県連への加入を促した。

なお、近々津山市連合町内会、鏡野町連絡区長会、吉井町区長

会を訪問する予定である。

平成十二年度は、市長会、町村会、議長会等、直接、間接を

るとともに並行して先進地に赴き研修視察を行なう。

岡山県の場合、市町村単位の連合会が比較的少ないこともあり会員増強の実効が上がりにくい状況にある。

概ね、次のような論旨で加入を促し賛同を得ている。

① ともに住民自治組織の運営に携わるものとして、共通の課題で、意見交換や情報の提供ができる。

② 県連組織の充実強化を図り県知事の付属機関である審議会等へ代表を派遣し、県政への市民

（県民）参加を目指す。

③ 町内会長は、労多くして報わ

れるところが少ない。お互いに切磋琢磨し町内会長としての資質の向上を図り社会的認知度を

高める。

三、全国自治会連合会関係

大会宣言

全国の町内会・自治会等の自治組織団体は全く地域住民の任意的な組織であるにもかかわら

ず、行政の補完的な役割を余儀なくされている。

加えて地区住民の福祉施設である町内会・自治会所有の建物はその財産権の設定がみとめられず、また関係者の身分についても何らの保障がなされていないのが実情である。

われわれはここに全国自治会連合会を結成し、これらの目的達成に努めると共に、よりよい地域社会の実現を図らんとするものである。

右宣言する。

昭和六一年九月一八日

全国自治会連合会

（原文のまま）

昭和六一年結成以来現在に至っているが、その体質は保守的、排他的、閉鎖的かつ年功序列の最たるものであり、現在、改革に取組んでいる。

おわりに

とき、恰も後樂園築庭三〇〇年祭たけなわ、町内会の運営は先憂（後楽）の精神で

〃

学区の動き

中心市街地を活性化しよう！

深根学区連合町内会長

赤木 實 男

新しいミレニアムに「岡山市中心市街地活性化基本計画」実施の年を迎えました。

県都岡山市都心部再生のため、萩原市長の英断により「都市型感動産業」が誘致され、表町三丁目「三丁目劇場」を設置し、お笑い界トップの吉本興業の公演が四月からオープンします。地元も諸手を挙げて応援いたします。

「笑う門には福来る」と中心部への波及効果、活気に溢れた岡山市の創出につながり大いに貢献すること存じます。活性化には、まず住みやすい生活環境が必要であります。空洞化した人口を還流させて

定住人口・流入人口を増やす方法としては教育（小学校）・商業（商店街）・医療（総合病院福祉施設）の三ゾーンを有機的に結ぶことが不可欠であります。そのためには教育環境整備の充実こそ商業・医療ゾーンと連動する基盤となります。

即ち国際化、情報技術革命に対応した高度な教育施設と大震災時に地域市民の小学校へ避難できる防災インフラが急務であります。そして中心部都心一キロ四方を循環する地球に優しいグリーン色した電気バス（超低床）を導入したら便利ではないかと思えます。

また、定住者の固定資産税の高額課税を住宅部分は近郊並みに特例化するか定期借地権制度を利用した住宅供給として新たな居住者の受け皿となる住宅一・二階には店舗やサービ施設を入れながら三階以上は都市型住宅を建て、若い世代が子育てと居住しやすい 安い賃貸・

共同・分譲などの公営住宅を都市整備整備公団により再開発し たらいかでしようか。上之町のシンフォニービルに 対し、表町南部地区に核施設として文化の交流・福祉などの機能強化した大規模な複合施設をつくり、併せて賑わいの面白い仕掛けとして展望台と大観覧車などを設置すれば、人も集まり回遊性も高まり相乗効果を発揮して楽しい輪が広がり市全体の活性化の素晴らしい起爆剤につながるかと存じます。

新しいまちづくり

思いつくこと

甲浦学区連合町内会長
西谷 萬 二

私のまちは、児島半島の北側

に位置し、かつて郡・北浦・鮎浦・宮浦の四ヶ村が明治 22 年に合併して甲浦村となり、その後、阿津・小串の二ヶ村と共に昭和 27 年岡山市に合併し、現在に至っています。この地域は、古くから居城があり歴史的な役割を果たしながら備前南部に勢力を張り、内海航路の重要な港として、また、漁業の拠点として栄え周辺は夕陽が映える瀬戸内海を望み、雄大な丘陵地には弥生時代の古墳や神社仏閣等、多くの文化遺産が残されており豊富な自然と合わせ貴重な地域であります。やがて陸上交通の急速な発達等により、新しい時代が訪れました。昭和 36 年児島湾締切堤防の開通、さらに同 50 年には児島湾大橋が完成され、

船運から車社会の物流に変化したことから、暮らなじむ港町はしだいに消え、現在は郊外住宅地として大きく変貌しています。今こそ「温故知新」の精神をとり入れるとともに移住者の

人々とも交流を深め、地域連携等の組織づくりを高めながら、人に優しい活力あるまちづくりを考えてみたいと思っております。そのためにも、官民が協働して汗をかくことが重要であり、地域住民も今までの参加から脱皮し、地域の創意を結集し住民が主体となって地域から広域の分野まで総合的に取り組み、また、地域と行政の役割分担を明確にすることにより、心が通じた特色のあるまちづくりが生まれてくるのではないのでしょうか。

日本は高齢社会に入ったことから「生きがい」を感じることをできる心の治療が求められており、社会参加をのぞむシルバードランティアのための支援や女性が家庭を持ちながら社会へ参画できるためのファミリーサポートセンター等の整備も益々重要となっているため、微力ではありますが地域の人づくりを主眼としたまちづくりが実現できまますよう研鑽を重ねます。

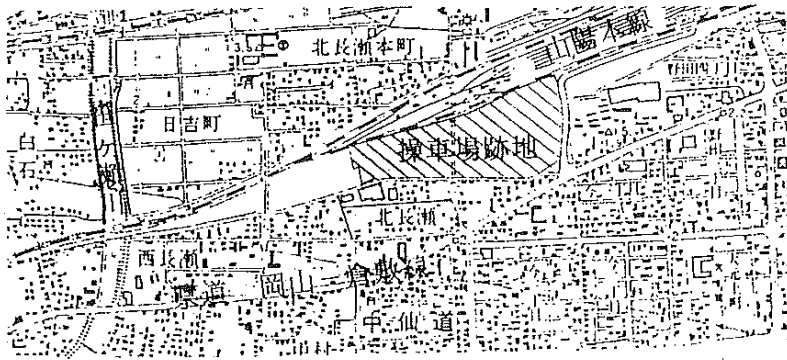
操車場跡地も西学区となるが、平成7年には岡山市総合支所整備計画による岡山市地域割審議会が設定され、六分割の問題が浮上してきた。

西学区・御南学区では、操車場跡地にしても西学区であり、当然この地区は中央へ分割されるべきであり、歴史的にも地理的にも中央との関連は離れることが出来ない、猛反対してきたが受け入れてくれなかった。

また、このように大きく変貌した地区の操車場跡地へ、チボリ公園がくるものと地区の住民は、大きく期待していたのである。

そして、着々と下水道と道路が整備されつつあったが、区画整理によって捻出された土地、国道百八十号バイパス(五十m)道路(古新田―旧国道西長瀬)は、チボリ公園の岡山市撤退などもあり工事が二十年間ストップされたまま放置されていた

一昨年より関係者の努力により工事が再開され、地元民は一日も早くこの道路と操車場跡地の有効利用を期待し、心から皆様方のご協力を、お願いする次第です。



古都学区の動き

古都学区連合町内会長

横山 洋

古都学区は岡山市の東北に位置し、東は浮田、西は財田、北は、牧山・瀬戸町にそれぞれ接し人口五千六百人の自然環境に恵まれたところで、学区内を東西に旧二号線・JR山陽線・山陽新幹線が横断し、南北に二分されている町である

最近の動きでは、17年開催の秋季国民体育大会主会場の候補地として指定され、地域住民が活性化を夢に描き、喜びに湧いたが社会構造の急変と激しい経済状況のありをを受け、津島総合グラウンドに変更されたことは、ご承知の通りである。

は、町内会の使命であるが、地域民の融和を

図る事も大事と考え、現在では「ふるさと古都」「古都のあゆみ」

を記事にしたマップを作成。名所旧跡を解説し、写真入りのマップを基に、各種団体長が協議し「ふるさとカルタ取り大会」「ふるさと写真展」実行委員会を結成して学区内の環境と融和・子ども達の情操教育の一環となるよう取り組んでいる。

写真展・カルタ取り大会により、地域民の和が広がり、地域を見直すことによって、地域の活性化に繋がるものと考え、カルタ取り大会は、町内会・PTA・子ども会を中心に古都学区を十地区に分けて、各町内で予選会を開き、選手を選出し、今年1月22日の大会で熱戦がおこなわれた。



当日は学区民が自由に参加でき学区を挙げての大会となる。各種団体独自の事業については、二十一世紀に向けて前進活力ある町づくりに町内会としてできるだけだけの支援を行うよう努力したい。

元氣一ぱいの津高

横井学区連合町内会長

里見 二男

現津高地区は、旧津高町のエリアそのままですが、然し、昭和46年の岡山市への合併以降の発展変貌ぶりは正に驚嘆の一語です。その主たる内容を列記すると、(岡山の空の玄関口と称される岡山空港)、(陸の玄関口と目される山陽自動車道の岡山インターチェンジ)、(国道五三号線バイパス)、(吉備新線のジャンクシヨン)、(岡山リサーチパーク)、(現在工事中の国立岡山病院の移転)など全く枚挙にいとまなしです。

そして、こうした利便性から当然、住宅団地など都市化の波もどっと押し寄せ、現在(六千六百余所帯、一万八千二百余人の人口)は、合併時のそれぞれ三〜二倍増の凄まじさで、総体

的に見た当地は、今岡山市内でも一番 元氣な地区かな?

と、些か誇りにさえ感じている次第。

但し、手放して喜んでばかりはいられない。開発の反面には必ず自然の喪失や騒音などの公害がつきもの、加えて新住民の大量移住はともすれば地域の伝統文化の衰退を招くなどの危惧。

だが幸い、こうした現象は市部に近い横井地区が顕著で、野谷・馬屋上の両学区は、今なお、昔ながらの素朴な農村風景と、古里の温もりを多分に残しています。史跡や歴史的建造物などこれといった観光資源の乏しい中であって、唯一他に誇り得る、津高の代名詞となっているマスカット(発祥の地)作りも盛んに継承されていて、これを核に、毎年集客力二万人余りの「マスカット祭り」が盛大に開催され、津高の面目を遺憾なく発揮しているのは何よ

りも嬉しい次第。

なお、片や、各学区の体協・PTA、或いは公民館活動なども極めて活発で、これも元氣な

津高の大きな原動力で、真に喜ばしい限りです。

時恰も、地方分権への流れは急。それは、取りも直さず、住民自治による地域の活性化・個性化への強い期待であり、当地区もこれに應えるべく、先般公民館を中心に「人材銀行」約百三十五名登録」を設立、これを活用し、今後更に広範活発にボランティア・文化活動を展開し前述の素晴らしいハード面と共にソフト面でも、名実共に岡山市の先導的役割を果たさんものと、夢と意気込みに燃えている昨今です。

岡山市連合町内会の動き

岡山市連合町内会総会

平成11年5月26日開催の

平成11年度定期総会において、兼松久和浮田学区連合町内会長が、岡山市連合町内会長に再選された。

岡山県自治会連合会の設立

平成11年4月19日岡山県自治会連合会(会長兼松久和岡山市連合町内会長)を「岡山市連合町内会」「建部町区長協議会」「富村地区長会」の一市・一町・一村で設立。同年8月30日平成11年度定期総会を建部町で開催。未加入の住民自治組織へ加入を呼びかけ、組織の拡充を図ることに決定。

全国自治会連合会

副会長就任

平成11年11月5日開催の全国自治会連合会理事会において、兼松久和岡山市自治会連合会会長が全国自治会連合会副会長に就任。全国自治会連合会東京大

会では、地縁による団体功労者に対する自治大臣感謝状の贈呈が初めて行われた。

編集後記

寒波の影響で寒い日でした。兼松会長も風邪気味の様子、鼻声での編集会議でした。「おかやま連町だより」も昨年の創刊号が100部作られて各連合町内会長に配布されましたが、今年も町内会長に読んでいただくべく一五〇〇部作り作成されることとなりました。

表紙の熊代武志会長の後菜園の写真カラーにしたかどうかと協議をしましたが、予算のこともあり思っ様にならず。ご投稿いただいた各連合町内会長さん、有り難うございました。

事務局のお力添えで二号がお届け出来ます。ご叱正下さい。

岡山市連合町内会副会長

梶原 昌一